

= 第 26 回京都図書館大会 =
震災と図書館
～まなぶこと・できること～

平成 29 年 8 月 7 日 (月) 10:20 ~ 17:00 (受付 10:00 ~)

会場：同志社大学 寒梅館ハーディーホール

(京都府京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103)

近年、日本各地において、大規模な地震など日常生活へ影響を与える災害が多発しており、日頃からの備えが大変重要になっています。今大会では、これまでに起こった震災から学び、図書館にできる備えや被災後の対応等についてともに考えます。



基調講演 「京都ではどのような地震が起こるのか」

講師： 堤 浩之 氏 (同志社大学理工学部 教授)

地形や地層に残された痕跡から活断層を見つけ、過去の活動（大地震の発生）履歴を解明する研究を行っている。主な調査地域は日本列島および東アジアの変動帯。博士課程修了後、高知大学理学部・京都大学大学院理学研究科に勤務した後、平成 29 年 4 月より同志社大学理工学部勤務している。

大会日程

開会行事 10:20~10:30

基調講演 10:30~11:50

「京都ではどのような地震が起こるのか」

堤 浩之 氏 (同志社大学理工学部 教授)

事例発表 13:10~16:00

「災害を自分ごとにする - 図書館でできる震災対策 -」

鈴木 光 氏 (減災アトリエ 主宰 / 一般社団法人減災ラボ 代表理事)

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ (ひなぎく)」

伊東 敦子 氏 (国立国会図書館電子情報部 主任司書)

「被災地での資料保存の取組」

吉原 大志 氏 (歴史資料ネットワーク 事務局長)

質疑応答 16:00~17:00

※事例発表の質疑応答です。基調講演の質疑応答は基調講演時間内に行います。

【主催】 第 26 回京都図書館大会実行委員会

【後援】 京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府市町村教育委員会連合会

【協力】 同志社大学、公益社団法人日本図書館協会、京都府図書館等連絡協議会、京都府学校図書館協議会

図書館関係者等が館種を越えて一堂に会し、当面する今日的課題について研鑽を積み、共通理解を深めることにより、これからの図書館活動の充実と発展に寄与することを目的に京都図書館大会を開催します。

【参加対象】

公共図書館、大学図書館、学校図書館及び専門図書館の職員、
学校教職員、日本図書館協会会員、利用者及び利用団体等

【参加費】 無 料

京都府外からの
参加も歓迎！！



地下鉄 今出川駅 2 番出口から徒歩 1 分
市バス 烏丸今出川バス停から徒歩 3 分

*会場に駐車場はございません。
ご来場には公共交通機関をご利用ください。

※会場内での飲食はできません。

昼食を持参される方は、地下 1 階・1 階ロビー、中庭等をご利用ください。

◆懇親会のご案内

17：30～（約 2 時間 会費：4 千円）

会場：寒梅館 1 階 カフェレストラン

Hamac de Paradis（アマーク・ド・パラディ）

☆館種を越えた交流の場です。ぜひご参加ください！

【大会参加 申込方法】

平成 29 年 7 月 28 日（金）までに、

電話・郵送・FAX・メール（件名に「大会申込」と明記）、または図書館大会ホームページの申込フォームからお申し込みください。

*図書館大会ホームページ URL

https://www.library.pref.kyoto.jp/?page_id=30



【申込・問合せ先】

第 26 回京都図書館大会実行委員会事務局あて

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 京都府立図書館内

電話：075-762-4655 / FAX：075-762-4653 / E-mail：tosyokan-service@pref.kyoto.lg.jp

第 26 回京都図書館大会参加申込書（このまま FAX 可です）

所属等	氏名	懇親会参加
		有・無